

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 23年1月 11日

オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 ¹			
高知県森林吸収量取引プロジェクト B			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	高 知 県 (コウチケン)		
住所	〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号		
代表者氏名	尾崎 正直	代表者役職	高知県知事
担当者氏名	前野 隆彦	担当者 所属部署・役職	林業振興・環境部 森づくり推進課 主任
担当者 E-mail	takahiko_maeno@ken3.pref.kochi.lg.jp	担当者電話番号	088-821-4574
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	芸東森林組合、高知東部森林組合、宿毛市森林組合		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
	高 知 県 (コウチケン)		
事業者名(フリガナ)	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認機関			
妥当性確認機関名	財団法人 日本品質保証機構		

¹ プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報	
プロジェクト概要 ²	<p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>目的は、県有林における適正な森林の整備により、水源かん養機能や山地災害防止機能など公益的機能を維持し、CO₂ の吸収量を確保する。また、その確保した CO₂ 吸収量のクレジット化により森林整備に係る費用の一部を賄う。</p> <p>内容は、プロジェクト代表事業者(高知県)が所有する奥中尾、西股山、古畑、山口、奥奈路、坂本、楠山県有林の中の、間伐が必要な区域について、森林施業計画に基づき間伐を実施する。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <p>C.1.2 条件1 森林施業計画の認定を受けており、森林法第5条に定める森林であるといえる。</p> <p>C.1.3 条件2 森林施業計画は、県有林および県行造林地で策定されており、プロジェクト対象地は、県有林のうち間伐を実施する個所のみを抽出している。 なお、プロジェクト対象地以外の県行造林は、平成35年3月まで、すべての個所を、高知県が森林施業計画により管理する。</p> <p>C.1.4 条件3 森林施業計画の認定番号 21-1 (変1-22)(室戸市長認定:認定日 2010.6.25) 21-5 (宿毛市長認定:認定日 2009.11.5)</p> <p>【法令遵守状況】</p> <p>森林法第 5 条地域森林計画に該当しており、森林・林業基本法第 9 条森林所有者としての責務に努めている。さらに、森林法第 11 条の森林施業計画及び保安林(指定区域のみ)について、森林法に定められた事項を遵守している。 また、森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)の特定間伐等促進区域に該当する。</p> <p>【採用技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の測量: レベルトラコン、モバイルマッパープロ、TruPulse360B、GTS-603F ・樹高測定器: パーテックスⅢ、TruPulse360B ・胸高直径計測器: 直径メジャー <p>【モニタリング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動量: 実測 ・拡大係数: モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)Ver.1.6 のⅡ-21,22 の係数 ・収穫予想表: 高知県民有林収穫表 <p>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</p> <p>一部、混交林に関する事項を除き、方法論R001ver.3.0(森林経営活動によるCO₂吸収量の増大(間伐推進プロジェクト)に関する方法論)に準拠している。</p>

² プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。

